

衆議院議員

浅野さとし

活動Letter
No. 13

発行：衆議院議員 浅野さとし 2018年11月号

【外国人労働問題】あまりに拙速、労働環境の改善が最優先

11月27日、政府が今国会の最重要法案と位置づけていた「外国人労働者受け入れ拡大法案（出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律案）」が法務委員会で強行採決され、同日、衆議院本会議で自民・公明などの賛成多数にて可決、参議院に送付されました。

現在の外国人労働者の劣悪な労働実態を鑑みると、まず労働環境の改善が最優先です。私たち国民民主党は「地方の人材確保への配慮」や「受け入れ上限の設定」、「外国人労働者の適切な待遇を確保」などを盛り込んだ対案を作成し、29日に参議院に提出しました。

今回、このような形で強行採決されたことは大変遺憾であり、政府には猛省を求めるとともに国民民主党は「世界に選ばれる国、愛される国をめざし、全力で取り組んでまいります。



野党5党2会派による「野党合同ヒアリング」（計：6回実施）

【党税制調査会】「つくろう、新しい答え。」

生活者視点に立った税制の実現をめざします！



税制調査会でも積極的に発言しています

国民民主党の税制調査会では「つくろう、新しい答え。」の合言葉のもと、大胆かつ現実的な税制改革の具体的内容を研究しています。

10月以降、多くの企業・団体からいただいたご意見ご要望をもとにして、生活者・消費者・働く者の視点に立ち、シンプルで公平公正な税制改革の「新構想」の策定に取り組んでいます。

新構想では所得税をはじめ、住宅や自動車等の家計負担軽減を強く意識し、法人税や中小企業支援を充実・強化させた内容としていけるよう、引き続き、全力で取り組んでまいります。

【プロフィール・略歴】

浅野哲（あさのさとし）。1982年9月25日生まれ（36歳）。青山学院大学大学院修了。

（株）日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大畠章宏衆議院議員秘書。

第48回衆議院議員総選挙において初当選。日立市在住。妻と娘の3人家族。

【原子力問題調査特別委員会】

革新的技術の開発状況について政府を質す。

11月29日、理事を拝命している原子力問題調査特別委員会において質疑に臨みました。今回は原子力規制委員会 更田委員長からの報告を受けた上で、使用済み核燃料の低害化・減容化に向けた取り組みについて質問しました。

今後も引き続き、原子力行政が抱える課題の解決をめざし全力で取り組んでまいります。

以下、主な質問の内容をご紹介します。

【衆議院 インターネット審議中継】
質疑の詳細についてはこちらよりご覧ください。
(<http://www.shugiintv.go.jp/jp/>)

・使用済み核燃料の低害化・減容化に向けた取り組みについて



浅野さとし議員

原子炉で発生した使用済み核燃料の有害度を短期間で低減する「^{※1}マイナーアクチノイド分離技術」。この最新の研究状況と方針について伺う。あわせて、国として研究の促進を求める。

原子力問題調査特別委員会 (2018年11月29日)

この技術は放射性廃棄物の長期的リスクを低減し、原子力利用に伴う廃棄物の問題に大きく貢献できると考えている。文科省内においても作業部会を設置し、着実に核変換技術の研究開発を進めていく。



文部科学省
増子大臣官房審議官

※1 マイナーアクチノイド分離技術

→使用済み燃料の中から、長期にわたり強い放射線を出し続ける核種を取り出し、核分裂反応により安定核種や短寿命核種に変換する技術。

【茨城県議会議員選挙】

11/30告示

12/9 投開票

選挙に行こう！「思い、願い、未来、その一票に」

立候補者



齋藤 英影
(日立市) 現2



高安 博明
(日立市) 新



遠藤 実
(那珂市) 元



二川 英俊
(ひたちなか市) 現1



佐藤 光雄
(水戸市) 現3



設楽 詠美子
(筑西市) 現2



糸賀 淳
(龍ヶ崎市) 新



【浅野さとしからのメッセージ】
外国人の方々の労働環境の改善は急務です。国籍にかかわらず、すべての働く人々が安心して仕事に打ち込める環境をつくるため、仲間の議員と力を合わせて頑張ります。浅野さとし

皆さんの想いを、お聞かせください！

【連絡先】
衆議院議員 浅野哲 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 406 号室

Mail : g17398@shugiin.go.jp
Tel : 03-3508-7231
Fax : 03-3508-3231